

2020 年 8 月 11 日

総合内科の入院診療を受けられた患者さんへ

「膠原病等における副腎皮質ステロイド治療の副作用である血糖値上昇に対する血糖降下療法の必要性予測」への協力のお願い

総合内科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2004 年 6 月 1 日～2020 年 7 月 31 日の間に、当科において、副腎皮質ステロイド治療を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認日～2024 年 8 月 31 日

研究目的・方法：

血糖値の上昇に対する血糖降下薬使用の必要性を、ステロイド治療開始前のスクリーニング検査から簡単に予測する方法を見出す。プレドニゾン治療導入後に血糖降下薬（経口血糖降下薬、GLP-1 受容体アナログやインスリン等）による治療が必要になるかどうかを予測することができるスコアリングシステムを開発し、その有効性を検証する。

研究に用いる試料・情報の種類：

以下の情報を電子カルテより取得します。

入退院日付、入院期間、年齢、性別、傷病名、疾患分類、担当医名、副腎皮質ステロイド治療の有無、ステロイドパルス療法の有無、副腎皮質ステロイド最大投与量、発熱の有無、身長、体重、血液培養検査結果、IVH 施行の有無、抗がん剤使用の有無、インスリン使用の有無、インスリン投与単位数、GLP-1 受容体アナログ製剤使用の有無、経口血糖降下薬使用の有無とその種類
血液生化学検査、血液像、負荷試験、尿検査

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学大学院医学系研究科 総合病態内科学分野

電話番号 058 - 230 - 6632

氏名：加藤 あや香

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科 総合病態内科学分野 教授

氏名：森田 浩之